

なやみ

第 207 号

2019年6月1日 発行

編集・発行

和東町人権啓発課

(人権ふれあいセンター内)

TEL 0774-78-3488

FAX 0774-78-3212

安心して
相談してほしい

新生活も始まり、いろいろな不安や、悩みを抱え、誰に相談すればいいかわからず、一人で悩んでいる子どもたちも少なくありません。

平成29年度児童虐待の件数は全国で13万件をこえる中、勇気を出し、助けを求めた児童が、虐待により、死亡するという痛ましい事件が発生しました。そんな深刻な状況を踏まえ、文部科学大臣

より児童へ向けてメッセージが発表されましたので、抜粋して紹介します。

『勇気を出して助けを求めてくれましたが、大人たちはSOSを受け止めきれず女の子を助けることができませんでした。私たち大人はもう二度とこのような悲しい出来事を繰り返しません。学校は児童相談所や警察としっかり協力してどんなことがあっても皆さんのことを最後

まで守り通していきま
す。大人が皆さんから必
ず信頼してもらえるよ
う、全力を尽くします。』

子どもの人権110番

いじめや体罰、不登校
や、親による虐待など、子
どもの人権問題は目に付
きにくいと言われていま
す。被害を訴える子ども
自身も訴える力が未熟で
あったり、身近な人には
相談しにくいなど、悩み
を抱えているかもしれま
せん。
そんな不安や、悩みな
ど、子どもの発するサイ
ンをいちちはやくキャッチ
し、解決できるように、電
話相談や、ウェブサイト
上で相談できるカードが

学校から配られます。
また、手紙で相談がで
る、子どもの人権SOS
ミニレターも配布されま
す。昨年、管内12市町村
では56件の相談が寄せら
れています。

まずは大人が信頼され、
子ども達の悩みをしっか
り受け止められるよう、
常にアンテナを張って、子
ども達の健やかな成長を
見守っていききたいです。

24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310

(なやみ言おう)

子どもの人権110番

0120-007-110

(全国共通・無料)

みんなで築こう 人権のまちづくり

理想の世界に近づくために

最近、身体障がい者を取り上げるドラマが始まりました。身体障がい者の日常を取り上げるデリケートな作品ですが、障がい者ならではの悩みや、障がいを持って生きることの難しさや、葛藤がリアルに描かれています。このドラマを知ったきっかけは、CMで「いつかこのドラマがただのありふれたラブストーリーになりますように」というフレーズが耳に残り、一度見てみようと思ったのがきっかけでした。上記のフレーズは、「いつか障がい者の人も普通に社会で受け入れられるように」「障がいのある人やそうでない人とか、そんなことを考えもしない世の中になりますように」という意味や願いが込められているのではないかと思います。

こういったドラマにより、障がいのある人のこと、また、日常を知るきっかけになればと思います。それがあつて意味、心のバリアフリー（一人ひとりが多様な人のことを思いやる）に繋がる第一歩ではないでしょうか。そして、全ての人々が平等に社会参加できる社会や、環境について考え（意識）、そのために必要な行動をしていけたら良いですね。

このドラマの題名は、直訳すると完璧な世界とか、理想の世界となるわけですが、この題名にもいろんな意味が含まれているのではないかと思います。

「何かか欠けていたとしても、それを受け入れ、優しさをもって生きていける」「大事に想う人、想ってくれる人がいるだけで人生は完璧」「お互いが足りない部分を補って手に手を取りあって生きていける」そんな希望や願いなどの意味が込められているのではないかと思います。そんな理想の世界に少しでも近づけるよう、障がいがある人も無い人も自分らしく生きていけるようにみんなで考えていくことが必要ではないでしょうか。

人権問題でお困りの方

法務大臣から委嘱された人権擁護委員さんが相談に応じます。相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談下さい。

6月の相談日

● 月日：6月3日（月）

27日（木）

● 時間：午後1時30分から

4時まで

● 場所：人権ふれあい

センター

また、人権啓発課（人権ふれあいセンター内）でも人権に関わる相談を随時行っておりますので、お気軽にご相談下さい。

お問い合わせ先

和東町人権啓発課

（人権ふれあいセンター）

TEL 78334888

FAX 7833212

